

こんなときは

新潟日報紙「健康」欄に読者の質問に答える形で連載

Q：生理不順で唇、のどが荒れる

40代になってから生理が不順気味となり、昨年10月には2週間もダラダラと続いたので婦人科で薬をもらい服用3、4日後に止まりました。その後、ずっと生理が無く、基礎体温は36度を保っています。癌検診を受けた際、先生に閉経にはまだ早い年齢と言われましたが、毎朝の体温が36度であれば排卵は無いとみてよろしいのでしょうか。昨年5月頃から唇、のどの荒れた状態が続いているので、コントロールを服用しています。

(新潟市・K・44歳)

A：基礎体温を記録し専門医へ

婦人は、加齢につれて老化に伴う身体的変化が多くみられるようになります。これは、卵巣機能の衰退と深く関連していて、これと関連した内分泌機能や関連臓器の代謝機能に変化がおこるためです。

卵巣機能の衰退は35～39歳頃から始まり、40歳頃からこれが明らかとなり、50～54歳頃に急激に低下し、55歳以降はほぼ同じような消長をたどるようになります。

ですから、44歳ぐらいになりますと、個人差はありますが、肥満になったり、生理不順、月経が長びく、頭痛、肩こり、のぼせなど、いろいろな症状がみられることも少なくありません。しかし、年齢的には、婦人科疾患としての、子宮筋腫、子宮内膜症、子宮頸癌などの器質的疾患が問題となる時期でもあります。生理不順、過多月経、希発月経、不正性器出血などが見られる場合には、これらの器質的な異常が無いかどうか検査を受けることが必要です。幸い、癌検診で異常ないということですから心配ないと思います。

また40歳代の半ばすぎて、生理が10日以上続いたり、50～60日も生理がなくて突然みられるような月経周期の場合には、無排卵周期のことが多く、妊娠する可能性は少ないと思われます。

生理不順や不正性器出血などがあれば、それだけで精神的不安が増し、また性生活などへの不安、不満なども多くなり、ますます悪循環を繰り返すこととなります。もし心配でしたら、2週間ぐらい基礎体温を記録して、専門医に相談されれば、より適切な指導が受けられると思います。